

関東ブロック合同訓練の実施報告

千葉県連教育遭難対策委員 伊東春正

神奈川県連救助隊主管による関東ブロック合同訓練に参加しましたので報告します。
従来この訓練は、救助隊の活動訓練を行っていましたが、近年、公的機関での救助体制や技術が進歩していく中で、各地方連盟への救助隊出動要請はなくなってきているため、今回は、遭難対策や、事故発生時のセルフ・レスキューを中心とした訓練を行いました。

- 1) 日程：2020年2月8日（土）9日（日）
- 2) 場所：秦野市表丹沢野外活動センター、広沢寺岩場
- 3) 参加者：神奈川県連、東京都連、埼玉県連、茨城県連、群馬県連、千葉県連から27名（千葉県連は伊東のみ参加）

4) 訓練内容

1日目（13時～21時）

- ①各県連から最近の事故状況および活動状況を報告
千葉では事故が16件発生、講習会は初級雪山と初級登山を実施、課題としては、教遭委員の減少と講習会の講師不足を報告した。
- ②オーセンティックジャパン社からココヘリの紹介
労山会員がココヘリで救助されている事案もでてきている。
- ③ロープワーク&ファーストエイドの実演
- ④夕食&交流会
神奈川県連手作りのカレー

2日目（9時～14時30分）

- ①朝食&場所移動
- ②アルパイン系セルフレスキュー
リードレスキュー、仮固定、登り返し
- ③ハイキング系セルフレスキュー
スリング2本を使った簡易ハーネス、インライン・フィギアエイトノットによる手がかり
- ④ココヘリ探索訓練
親機を上げ下げしたり、場所移動したりして子機の電波をキャッチするのがコツ。

5) 所感

救助隊が休止中の千葉県連としては、ハイキング系セルフレスキューを期待して参加した。
昨年、千葉県連では9件の転倒事故、また全国連でも転倒事故で2件の死亡事故が発生して

おり、ハイキング系セルフレスキューの必要度・重要度は高いといえるので、今回の訓練で、ハイキング系に目を向けられたのはよい企画だと思う。

千葉県連では、7点セット（補助ロープ7または8mm×10m、60cmスリング2本、120cmスリング1本、安全環付カラビナ1枚、カラビナ2枚）を携帯することを推奨しており、これらを使って、事故者の救出と搬送、足場の悪い箇所での通過、などができるよう会員へ講習していきたい。

また、労山のココヘリ救助隊（地上からの探索）、関東ブロック内で救助要請による互助救助のネットワークがあるのは心強い。労山加盟のメリットといえる。

